

第68期事業報告書

(自 : 令和6年4月1日 至 : 令和7年3月31日)

株式会社 札幌振興公社

目 次

I 会社の現況に関する事項

	頁
1. 事業の経過及び成果	1
2. 対処すべき課題	2
3. 設備投資及び資金調達の状況	2
4. 財産及び損益の状況	2
5. 主要な事業内容	3
6. 主要な事業所	3
7. 従業員の状況	4
8. 重要な親会社及び子会社の状況	4
9. 主要な借入先及び借入額	4

II 会社の株式に関する事項

1. 株式会社が発行する株式の総数	4
2. 発行済株式の総数	4
3. 株主数	4
4. 株主	4
5. 会社の新株予約権等に関する事項	4

III 会社の役員に関する事項(附属明細書記載事項を含む)

1. 取締役及び監査役の氏名等	5
2. 役員の報酬等の総額	5
3. 社外役員の主な活動状況	6
4. 社外役員の報酬等の総額	6

事業報告

I 会社の現況に関する事項

1. 事業の経過及び成果

令和6年度の事業の経過につきましては、物価の高騰による節約志向の強まりから個人消費の停滞があったものの、円安の影響によるインバウンドの増加により、観光事業・飲食事業を中心に売上が前年より増加する結果となりました。

このような状況の中、不動産賃貸事業につきましては、引き続き堅調な売上で推移したことにより、当事業年度より北8西1再開発ビルが開業したことにより不動産収入の増収につながりましたが、各テナントの開業に係る工事費等の負担により前年度と比較し増収減益となりました。

駐車場事業につきましては、新幹線建設工事によりレールパーク札幌駐車場の営業が令和5年10月を以って終了したことに伴い、前年度と比較し減収減益となりました。

大倉山・藻岩山両観光事業につきましては、上記の通りインバウンドの増加が追い風となり、前年度と比較し増収増益となりました。

飲食事業につきましては、観光事業と同様に売上を伸ばしており、当事業年度より採用したブランドネーム「SAPPORO VIEWTIFUL DINING」を活用した広告宣伝効果も追い風となり、前年度と比較し増収増益となりました。

事業別概況は下表の通りとなっており、事業全体の経常収入は3,409,318千円、経常支出は3,339,208千円、当期の経常利益は70,110千円であります。

事業別概況

事業別の経常損益につきましては、次のとおりであります。

(単位：千円)

区分		収入	支出	うち減価償却費	経常損益
不動産賃貸	不動産	1,229,045	1,039,081	398,364	189,964
駐車場	直営駐車場	時間・定期駐車場	106,421	62,942	43,479
	駐輪場 ※	札幌駅・大通周辺駐輪場管理	122,694	123,401	△ 707
大倉山	直営事業	索道他	137,310	186,081	△ 48,771
	ジャンプ競技場 ※	施設管理・利用料金・売店	308,377	322,527	△ 14,150
藻岩山	索道・売店・道路・ロッジ	898,133	645,055	136,615	253,078
料飲	レストラン・カフェ・食堂	593,692	607,031	24,147	△ 13,339
一般管理部門		13,646	353,090	6,235	△ 339,444
合計		3,409,318	3,339,208	622,690	70,110

(注)1. ※は指定管理者としての業務となっております。

(注)2. 札幌市から受託した文書保存センターにつきましては一般管理部門に含めております。

(注)3. 経常損益以外では、特別損益として、すすきの市街地ビルの2階から5階部分の住宅を所有していましたUR都市再生機構の撤退により、所有権を当社へ移転させ将来の建物解体費相当額として受領いたしました280,581千円を利益計上し、同額を解体損失引当金繰入額として損失計上しております。このほか、固定資産除却損として312千円、幌北総合センター移転事業に係る立退費用として21,255千円を損失計上しております。

2. 対処すべき課題

令和6年度の経済状況は、物価の高騰による逆風は続いたものの、国内及びインバウンド需要については回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、不動産賃貸事業については北8西1再開発事業において令和7年夏頃より全てのテナントがオープンとなることに加え、既存施設の大谷地アドバンシービルにおいては、駐車場の一部を貸し事務所スペースへ改修する工事が令和7年7月末の竣工予定であり、これによる家賃収入の増加及び増益を見込んでおります。

また、駐車場事業につきましては、南1西6駐車場及び大谷地東駐車場の運営について外部への業務委託を行うことで、設備保守等に係る費用及び契約・集金業務に係る人件費等の削減による増益を見込んでおります。

大倉山・藻岩山両観光事業につきましては、安全第一の事業運営を行いながら、近年定着してきております各種イベントの実施によるPRを継続して行い、藻岩山ロープウェイについては事前予約システムの本格稼働を令和7年度中に予定しており、混雑緩和によるお客様サービスの向上と、効果的な誘致・集客に努めて参ります。

飲食事業につきましては、令和7年6月に札幌三井JPビルディング「赤れんがテラス」へ新たにレストランをオープンし、既存のレストランを含めた4拠点での運営となります。引き続き観光事業と連動した企画展開や広告宣伝に「SAPPORO VIEWTIFUL DINING」を活用し、PRと集客施策を実施して参ります。

3. 設備投資及び資金調達の状況

1) 設備投資の状況

当期中に実施した設備投資の総額（リース資産を含む）は、811,391千円で、その主なものは次の通りです。

北8西1地区再開発（さつきた8・1）建物費相当額	390,472千円
北8西1地区再開発（さつきた8・1）建築・設備工事等	308,750千円

2) 資金調達の状況

当期中に調達した資金の総額は、686,000千円で、内訳は次のとおりです。

北8西1地区再開発（さつきた8・1）建築・設備工事資金	300,000千円
大谷地アドバンシービル改修工事資金	386,000千円

4. 財産及び損益の状況

	第65期 (令和3年度)	第66期 (令和4年度)	第67期 (令和5年度)	第68期 (令和6年度)
売上高（千円）	2,125,658	2,780,835	3,166,903	3,361,676
営業利益（千円）	△ 361,549	15,041	107,429	104,266
経常利益（千円）	△ 287,478	35,815	75,655	70,110
当期純利益（千円）	△ 288,655	32,448	62,485	47,133
1株当たり当期純利益（円）	△ 2,607.45	293.11	564.43	425.76
総資産（千円）	12,798,475	12,763,810	12,870,931	13,517,817
純資産（千円）	2,288,736	2,321,184	2,383,670	2,424,825
1株当たり純資産（円）	20,674.37	20,967.48	21,531.92	21,903.68

(注)1. 1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産は小数点第2位未満をそれぞれ切捨てて表示しております。

(注)2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算定しております。

(注)3. 1株当たり純資産は、期末発行済株式総数に基づき算定しております。

5. 主要な事業内容

- (1) 不動産の賃貸（宮の沢ターミナルビル、白石ガーデンプレイス他）
- (2) 駐車場の経営（宮の沢駐車場、大谷地東駐車場他）
- (3) 札幌市ジャンプ競技場等の管理運営（指定管理者）
- (4) 大倉山ジャンプ競技場リフト・売店の経営
- (5) 藻岩山ロープウェイ・売店・観光道路の経営
- (6) 藻岩山スキー場ロッジの経営（食堂、レンタルスキー他）
- (7) 札幌市札幌駅周辺自転車等駐車場の管理運営（指定管理者）
- (8) 札幌市大通周辺自転車等駐車場の管理運営（指定管理者）
- (9) レストランの経営（ザ ジュエルズ、ヌーベルピース大倉山、ザ ガーデン サッポロ他）
- (10) 損害保険代理業

6. 主要な事業所

名 称	所 在 地
本 社	札幌市中央区北12条西23丁目2番5号（S D C 北12条ビル4階）
宮の沢ターミナルビル (防災センター)	札幌市西区宮の沢1条1丁目16番地1他
白石ガーデンプレイス (防災センター)	札幌市白石区南郷通1丁目南22番4
セ レ ス タ 札 幌 (防災センター)	札幌東区北12条東7丁目6番地他
大倉山ジャンプ競技場	札幌市中央区宮の森1274番地
藻 岩 山 ロ ー プ ウ エ イ	札幌市中央区伏見5丁目3番7号他
藻岩山スキー場ロッジ	札幌市南区藻岩下1991番地
駐 輪 場 (札幌駅周辺)	札幌市中央区北5条西5丁目7番地（札幌55ビル1階）
駐 輪 場 (大通周辺)	札幌市中央区南1条西2丁目（西2丁目線地下）
ザ ガーデン サッポロ	札幌市中央区大通西1丁目（さっぽろテレビ塔3階）

7. 従業員の状況

(令和7年3月31日現在)

区分	従業員数	平均年齢	平均勤続年数
正社員（総合職）	56名	40.2歳	10.4年
正社員（専任職・専門職 月給）	77名	39.6歳	4.2年
正社員（再雇用、嘱託）、契約社員	9名	63.0歳	15.7年
合計	142名	—	—

(注) 上記以外の従業員は、臨時社員13名、パート94名（実雇用人数）であります。

8. 重要な親会社及び子会社の状況

1) 親会社の状況

札幌市は当社株式の88.08%（97,504株）を保有しており、当社は札幌市の第三セクターであります。

当社は、札幌市から土地等を賃借し、宮の沢ターミナルビル賃貸事業等の不動産賃貸事業及び宮の沢駐車場等の駐車場事業並びに藻岩山ロープウェイ等の観光事業を行っております。

また、札幌市の指定管理者制度により、札幌市ジャンプ競技場等管理運営業務について指定管理者として指定を受けております。

2) 子会社の状況

該当はありません。

9. 主要な借入先及び借入額

(令和7年3月31日現在)

借入先	借入残高
(株) 北洋銀行	2,270,034千円
(株) 北海道銀行	1,346,402千円
(株) 日本政策金融公庫	583,579千円
(株) 日本政策投資銀行	295,000千円
合計	4,495,015千円

II 会社の株式に関する事項

1. 会社が発行する株式の総数 120,000株

2. 発行済株式の総数 110,704株

3. 株主数 6名

4. 株主

株主名	出資状況	
	持株数	出資比率
札幌市	97,504株	88.08%
(株)さっぽろテレビ塔	6,240株	5.64%
札幌商工会議所	4,160株	3.76%
(株)北洋銀行	1,600株	1.44%
(株)北海道銀行	800株	0.72%
北海道瓦斯(株)	400株	0.36%
合計	110,704株	100.00%

5. 会社の新株予約権等に関する事項

該当はありません。

III 会社の役員に関する事項

1. 取締役及び監査役の氏名等

(令和7年3月31日現在)

地 位	氏 名	担当及び他の法人等の代表状況
代表取締役社長	浦 田 洋	
専務取締役	村 田 祐一	
常務取締役	元 木 朗	
常務取締役	中 目 晃 嗣	
常務取締役	松 川 泰 昭	
取 締 役	阿 部 雅 司	
取 締 役	芝 井 静 男	札幌市 交通事業管理者
取 締 役	白 濱 光 人	(株)さっぽろテレビ塔 代表取締役社長
取 締 役	廣 田 恒 一	札幌商工会議所 専務理事
取 締 役	平 川 昌 之	(株)北海道銀行 常務執行役員
取 締 役	八 木 渉	北海道瓦斯(株) 常務執行役員
監 査 役	愛 須 一 史	弁護士法人水原・愛須法律事務所 弁護士
監 査 役	上 田 恵 一	上田恵一公認会計士事務所 公認会計士 税理士

(注) 1. 芝井静男氏、越田雄三氏は、令和6年5月27日取締役に就任いたしました。

(注) 2. 松川泰昭氏は、令和6年6月27日常務取締役に就任いたしました。

(注) 3. 見澤和顕氏は、令和6年6月27日常務取締役を退任いたしました。

(注) 4. 青山智則氏、越田雄三氏は令和7年3月31日取締役を退任いたしました。

(注) 5. 取締役芝井静男氏、白濱光人氏、廣田恒一氏、平川昌之氏、八木渉氏は、会社法第2条第1項第15号に定める社外取締役です。

(注) 6. 監査役愛須一史氏、上田恵一氏は、会社法第2条第1項第16号に定める社外監査役です。

2. 役員の報酬等の総額

(単位：千円)

区 分	人 数	報酬等の額	報酬限度額
取 締 役	8 名	44,320	60,000
監 査 役	2 名	1,608	4,000
合 計	10 名	45,928	-

(注) 報酬限度額は、取締役については令和2年6月29日開催の株主総会で、監査役については平成20年6月27日開催の株主総会で承認されております。

3. 社外役員の主な活動状況

区分	氏名	活動状況
取締役	芝井 静男	当社の業務執行者から独立した立場で必要に応じて、取締役会において議案の審議に必要な発言を行っております。
	白濱 光人	
	廣田 恒一	
	平川 昌之	
	八木 渉	
監査役	愛須 一史	主に弁護士としての立場で必要に応じて、取締役会において法令及び定款遵守にかかる見地から発言を行っております。
	上田 恵一	主に公認会計士としての立場で必要に応じて、取締役会において法令及び定款遵守にかかる見地から発言を行っております。

4. 社外役員の報酬等の総額

(単位：千円)

社外役員の報酬等の総額	人 数	報酬等の額
	4 名	2,616